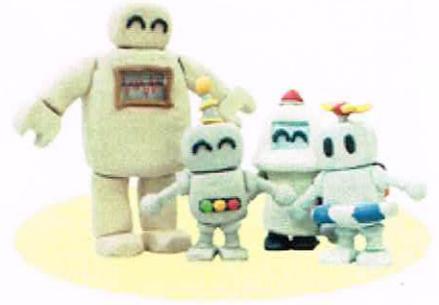


# 修了証

## 堺市消費生活協議会 さま

あなたは大阪市立阿倍野防災センターにおいて、一連の防災体験を下記の成績で修了しましたことをここに証します。

この修了証に書かれているのは、あなたの体験結果に合わせたアドバイスです。うまくできた人もできなかった人も、今回の体験を振り返って復習しておきましょう。



### あなたの今回の体験評価

#### バーチャル地震コーナー

よくできました!

地震体験はいかがでしたか？今回は比較的広い場所での地震体験でしたが、もし家の中などで地震が起こった場合には、まず落ちてくるものや倒れてくるものから身を守るようにしましょう。

#### 火災発生防止コーナー

よくできました!

うまく二次災害が防止できましたね。地震が本当に起こった時にも、この体験を思い出してすぐに行動できるようにしておきましょう。また、火事が起こってしまったらどうすべきかといったことについても確認しておきましょう。

#### 煙中コーナー

よくできました!

うまく避難できましたね。ところで、ハンカチはきちんと口に当てていましたか？濡らしたハンカチは有毒ガスを薄める効果もあります。低い姿勢で、ハンカチを口に当てて逃げる、この両方を意識するようにしましょう。

#### 初期消火コーナー

よくできました!

うまく消火出来ましたね。今回は運良く消火器があるところで火災が発生しましたが、消火器がない場合はどうすればよいか、また、火の性質はどういうものか確認しておきましょう。

#### 119番通報コーナー

よくできました!

うまく通報できましたね。必要な情報を的確に伝えることによって、消防署もすばやく対応できます。最近は携帯電話からの通報も増えていますが、同じ要領で、落ち着いて相手に要件を伝えるようにしましょう。

#### 消火コーナー

未体験

ここでは「可搬式ポンプ」という、消火を行うための放水ポンプの使用方法を学びます。

#### 救出コーナー

未体験

倒壊した建物などで、人が生き埋めになったら、地域の人が協力しあい、大工道具や救出用の資器材などを使っていち早く助け出すことが重要です。ここでは、ジャッキを使ってがれきに挟まれた人を救出する体験ができます。

#### 応急救護コーナー

未体験

ここでは、止血や骨折の手当など、救急隊が到着するまでにできる応急処置について体験することができます。

後日インターネットにアクセスする場合、修了証を印刷する時に登録したパスワードと右のID番号が必要になりますので、修了証を無くさないように注意して下さい。

IDパスワードは1ヶ月アクセスがないと無効になります。1ヶ月に一度はログインして下さいね。

●あなたのID番号: 1311140064

●ホームページアドレス:

<http://www.abeno-bosai-c.city.osaka.jp/>

平成25年11月14日

大阪市立阿倍野防災センター

# check! さい がい たい けん ぶく しゅう 災害体験を復習しましょう。

## 1 1 まず頭を保護し、身の安全を確保しましょう。

地震が起こったらまず頭を保護することが大切です。揺れを感じたらとにかく、丈夫なテーブルなどの下へ逃げ込んで頭を保護しましょう。また背の高い家具や冷蔵庫など、転倒、落下しそうなものから離れ、座布団などで、(何ものなければ手で)頭を保護しましょう。



## 2 2 二次災害を防ぐ

地震の時に怖いのは、後に起こる火事です。地震を感じたら使っている火、ガスコンロ、石油ストーブ、アイロンなど火や熱を発生するあらゆるものを忘れずに消しましょう。ただし、地震の揺れが大きく、天ぷら油や熱湯などが飛び散るおそれがあるときは、いったん揺れがおさまってから消しましょう。器具だけでなく、ガスの元栓や電気ブレーカーも切りましょう。



## 3 3 煙通路の避難

火災が発生した場合、怖いのは煙です。煙に巻かれると恐怖感で判断が鈍り、吸い込むと一酸化炭素やその他の有毒ガスで酸素不足を起こしてさらに行動がしにくくなります。煙は天井から充填してくるので、避難するときはできるだけ姿勢を低くして、床に近い部分の空気を吸うようにし、できればハンカチが濡れたタオルで口を押さえて移動します。



## 4 4 初期消火

家の中で火災が発生した場合、素早く消火することが大切です。一般に炎が天井付近に達するまでは、消火器で消すことができます。消火器以外にもためおきの水や、水に浸したシーツなども活用できます。消火器は炎や煙に感わずに燃えているものに直接放射します。日頃から消火器の使い方の手順を覚えておきましょう。



## 5 5 119番通報

119番通報するときは、まず冷静になることが大切です。おちついて、火災やケガ・病人の状況などを出来るだけ詳しく伝えてください。携帯電話・PHSからの通報の時は、必ず発生場所を確認してから通報してください。場所がわからない場合は、多くの建物に住居表示がついています。また大きな交差点には信号の近くに名称がついた標識がかかっています。

局番なしの119番



Q.火事ですか?救急ですか?  
A.火事です!(救急です!)

Q.場所はどこですか?  
A.こちらは〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号  
(〇〇マンション〇〇階〇〇号室)  
〇〇という家(店)です。

Q.あなたのお名前と電話番号を教えてください。  
A.わたしは〇〇です。  
電話は〇〇〇〇-〇〇〇〇です。

